

科目名	生涯発達心理学 (Life-Span Developmental Psychology)			科目コード	146
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	(看護) 必修 (臨床) 選択	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看①、臨①
担当教員	仲渡 江美				
授業概要	授業では、乳児期から老人期にかけての人の発達に関する話題提供を行う。各発達段階における基本を理解し、自身の発達過程を振り返り、発達に関する知識を深めることを目指す。				
授業目標	<p>この授業では、人間の知覚、認知、社会性の発達に関する学習を通じて、次の2点ができるようになることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ひとりの人間の中で、それぞれの発達の側面がどのように影響しあい、統合されているかを理解し、発達するとはどういうことかについて、自分なりの考えをまとめられるようになる。 2 「子どもの発達」を支える基盤について、自分なりの考えを述べるができる。 				

授業計画

回	項目	内容
1	発達について	発達とは、遺伝と環境による影響
2	認知・社会性の発達 (1)	乳児期：赤ちゃんの視知覚能力の発達
3	認知・社会性の発達 (2)	乳児期：愛着 (attachment) -親子の絆の形成-
4	認知・社会性の発達 (3)	幼児期：ことばの獲得、ピアジェの認知的発達理論
5	認知・社会性の発達 (4)	児童期：学びと友人関係、心の理論
6	認知・社会性の発達 (5)	青年期：アイデンティティの確立
7	認知・社会性の発達 (6)	成人期：就職、配偶者選択、親になること
8	認知・社会性の発達 (7)	老人期：人生のまとめ
成績評価方法	毎授業のワークシート・リアクションペーパー (60%)、小レポートおよび提出物 (20%)、最終レポート (20%)。授業計画を含め、詳細は授業第1回目に説明する。	
教科書	特に指定しない。	
参考図書等	岡本祐子・深瀬裕子 (編)「エピソードでつかむ生涯発達心理学」(ミネルヴァ書房) 山口真美「赤ちゃんは顔をよむー視覚と心の発達学」(紀伊國屋書店) 必要な文献等は、授業で配布する。	
授業時間外の学習について	授業内容の確認のため、授業において数回レポートを課す (1 レポートあたり 2 時間)。	
関連科目	受講する上で必要となる基礎科目：128 心理学	
備考		